

智の臣彬々輩出せし中に於て、一國直の臣、獨り其美を千古に留にせり、材智の得易にして、感直の得難きこと何ぞ夫れ此の如くなるや、氏の如きは名を懸ふるにあらざり、利を争ふにあらざり、其精神の盡く公利公益の四字に出づること敢て疑を容れず、今や山中の地に才子ありと雖も、學者ありと雖も、策士ありと雖も、氏の如きは極て稀なりとす。

氏、西八代郡桑村の人、壯にして福十村の蘆澤直藏氏方に仕ふ、時に直藏氏尙ほ幼にして家門漸く傾んとす、氏、主に仕ふる忠實、日夜淬身以て家道の復興を計る十年一日の如し、人情洗季の今日、氏獨り篤行廉直、朝は星を仰て起き夜は更深くして寐す其間或は耕種、或は草鞋又は繩を作り、孜孜として勉む、遂に蘆澤家を以て舊時の盛に復せしめたり、事遂に官に聞え勅定の録授庶章を下賜せられたり、又以て氏か篤行を知るに足る可し、

を勵まし、或は刑棘を刺き難關を努め以て農産經理の模範を示し、郡村を勧誘して實業の發達を勤め、或は提擲誘掖到らざるなく之を以て游惰奢侈の俗漸く敦厚の風に歸し、一郷富是し徳化遠邇に及ぶ、論に精勵し衆民の模範たるは人々の推賛する所なり。

猪股與兼君

我國に於て長足の進歩をなしたるものを醫學とす、明治維新以來は我國の文化は旭日登天の勢を以て進歩したるが、其中に於て尤も發達を爲したるものを醫學と爲す、而して醫學界中、尤も聲譽の高く伎倆の優秀なるを佐藤博士と爲す、猪股與兼氏、醫學士と爲り大學に於て久しく佐藤博士に就きて

久保寺匡正君

縣下特有の一事業を製氷業とす、而して縣下に於ける製氷事業に功勞ある人は、乃ち久保寺匡正君と爲す、君は西山梨郡千代田村の人也。

西山松三郎君

久しく西山梨郡に在りて事實の郡長と稱せられ、郡衙の事、細大となく、一として與り聞かざるは無かりしは、乃西山松三郎氏にして、目下南都留郡役所に第一課長たり、氏は本縣に來りし時は今を去る十七八年前にてありき、一時職を警察に奉せり、時之れ民權自由の聲天下に反響して所在を振蕩するの際なりき、專制官吏の虐政は甚だ茲にして當時の警官は單に之を威嚇するを以て職務に忠良なるものとせり、氏や志業より、茲に非らず、從つて他の吏輩を伍して威服を専らにするを潔とせず、會々事あり長官と争ひ遂に決然として職を辭せり、東山梨郡の有志其決心に感し氏をして強て止て時の政治團體たる公道會の書記たらしめたり、氏、其厚意を諒とし居ること年余、遂

に適當なることを認め、茲に該事業を開始せんと決意したるに岩園らんや、該池は甲府市紅梅町小田切藤次郎氏なる者、明治十四年一月十二日付を以て既に借地許可を得たりと爲し、終に訴訟を提起するに至り君は共有者五十七名總代として、夫より甲府及東京控訴院、大審院、名古屋控訴院等に出庭し、明治二十九年五月に至り勝訴の上歸村し、猶今年より製氷事業に熱心從事し本縣下各所に製氷地三十七ヶ所並に貯氷藏十二ヶ所及静岡縣下静岡市を初め濱松町、島田町、富士川町岩淵の四ヶ所に一ヶ所十方貨目の氷を積入るべき大なる石藏を建築し、費金合して二万八千余圓、尙ほ東海地方に於て東は小田原、西は豊福間に數十ヶ所、本縣下に於ては歐澤、青柳、小笠原の各所に支店を置き夏期販賣を專とせり。

に郡衙に入りて書記を奉職す、爾來十余年、格調を勵み曾て過失あること無し、且つ深く郡下の事情に通じ行政に練熟せり、時或は公道會派と云々するものあり、雖も之れ反對者の妬言に過ぎざるのみ、之を以て福島郡長去り、小林郡長来り、小林郡長去つて、秀島郡長来り、秀島郡長去つて、松本郡長来り、氏は唯だ累進して要地を占むるに至るも、毫も之を如何ともするること難し、蓋し郡衙内の事務に至つては知らざる無く聞せざる無きの故なり、之を以て人或は事實の郡長なりと稱せり、決して溢美の言に非ざる也、氏性質溫柔にして若賢而して一片の奇賞の際乎として犯す可らざるものあり、書を能くし、文を屬せり、蓋し氏の如きは軍ろ行政の人に非らずして立法の人たり、然れども時運の變は氏をして事務に練熟し行政の智囊を稱せしむ、今や南都留郡に課長たり。

### 神戸舉一君

富士の裾野は遠く開けて、桂の水は長し、に流る、都留の地より中央に出て、名を爲すの人士多し、而かも其中に於て志村源太郎氏を最とし、前途に有望なるを神戸舉一

志村氏の志を背雲に得て勸業銀行に在る、人々皆之を知れり何れも其榮達を欣羨せざるは無し、然れども神戸氏の知を先達に得て日本鐵道會社に在る、知る人少しと雖もその前途に有望なる誠に欣羨すべきものありとす、氏は南都留郡桂村の人、幼にして辛勞を嘗め、夙に艱苦の間に長し、若尾氏の推轡に依りて漸く出世の發着點を得たり、之の先日の榮達を見るに至りし、基因たる也、先輩の後進を導くは古來よりの逸事、然れども此の如くなるを得ざりき、先輩は後進に冷淡に後進は先輩に嫌焉たり、只夫れ神戸氏の若尾氏に依つて今日の立身を得たる誠に美事と稱すべし、氏も銘して忘る、勿れ氏、久しく縣會書記を勤めたり、得る所の資は修學の資に宛て、苦學、拮据、毫も倦處なかりし、日職に入るや着々として地歩を固め得て、一年、重役の信を得て昇進又昇進、遂に今日に至り、氏の堅忍の志あるに非ずんば焉んぞ能く茲に達せんや、氏や尙出世の半途なり、大成の望むべきもの夫れ何んぞ一課長たるに止らんや、自重自愛して前途の成功を期せよ、

### 網野善右衛門君

凡そ事を爲すは才に非ずして徳に在り、網野善右衛門氏、敦厚の資を以て地方の富を圖り、産業の發達を望み其勤儉を唱ふるや四隣皆之に従ひ、農桑の改善を促すや近戚も隣、夫子の所謂徳之流行速於置郵傳命なるもの、眞に是歟、吁、亦安ぞ天の木鐸を斯人に寄するに非ざるを知らんや、其商機に富む所以のもの、蓋し智察然るに非ず唯至誠事に當り信義他を欺かざるを以てのみ、世の朝三暮四、稱して術數と爲すもの素より與に較するに足らざる也、

氏、東八代郡に於ける有名なる資産家なり資本五万圓を以て個人銀行を創立し網野銀行と稱せり、由來東八代郡の地たる實業を以て稱せらる、資本の流通を便にして農商業の振興を圖る等其他勤儉貯蓄を奨め兼民の積蓄たるべきの事妙ならず、之を以て往年多額納稅者の互選に依りて貴族院議員と爲り、天顏に接し國家の政務の協賛に與りたり、家門の名譽之に比す可き無し、氏の長男を善一氏と云、夙に一年志願兵と爲り勤務を全ふして陸軍少尉に任せらる、日露開戦に際し召集せられて軍に赴く、素

より勇敢質直の士、命を聞て躊躇して戦地に向へり、旅順背面の攻撃軍に加り、常に旅手として奮闘せしが、遂に不幸敵陣に中りて名譽の戦死を爲せり、氏、戦死に當て中尉に昇任さる、葬儀の日、儀に列するの人数千人誠に盛況を極む、又以て家門の榮と爲すに足る、善一氏の令聞は廣瀬久政氏の殊夙に淑徳を以て稱せらる。

### 原田彌市右衛門君

今の世、法律繁密、治を爲す誠に難し、然れども要は民の爲に謀りて忠なるに在り、その殖産に努め水利を通じ、汲々乎として町村民の衣食を先にするを見れば、亦た方を得たるものあり、太史公曰く奉職循理亦可以爲治何必威嚴哉と是を云ふ也、原田彌市右衛門氏の如き乃ち然り。

歐澤町は南巨摩郡に於て尤も繁華なるの地にして、富士川水路に於ける咽喉たり、之を以て往時は貨物の集散、旅客の往來、頻繁にして其熱鬧に甚だしかりき、且つ幾多の水夫は幾多の船舶を賦して、發着間斷無かりし、然るに一朝中央鐵道の開通するや、經濟上の大變動を受け、前日繁華の十

分一に減し貨物若くは旅客の往復等僅々の數と爲れり、従て大打撃は各方面に波及し一時は非常の慘況を呈したりしも、今や漸次に基礎を固くし、地方の自治は發達し得るに至らんとす、町政の局に當るもの豈に苦心焦慮、以て其宜しきに處せざるを得んや、

氏、此間に在り着々として施設する處あり或は産業を奨励し、或は失職者に授産し、或は衛生に、或は教育に、何れも孜孜として之れ勉め、人々をして其熱心懇切に感せしめたりき、

且夫れ歐澤町は峽南の一要地たり、従つて風俗は浮華粗糲なるを免れず、氏は大に茲に留意する處あり、鞠躬盡力、以て之か矯正に從へり、漸次其効果の見るべきものあり、氏、又た以て榮とすべき也、町民、氏に向て感謝すべきなり。

### 坂本龍吉君

厚にして十年一日の如く、須臾も村民の公議を忘れず、空言を以てせず、躬行を以て好例を示すものに至りて、愛之者衆の念を發動せざるを得ず、坂本龍吉氏の如き之れ其人なる乎、

氏、東八代郡黒駒村の人、性質質實にして懇切、事に當つて周匝、夙に地方自治の衝にありて村務の整齊に之れ勉む、殊に同地は中央鐵道開通前に於ては東海道交通の樞路に當り、百事錯綜、物貨輻輳、爲に村民の多くは浮華に流る、氏、之を憂ひ孜孜として誘掖する所ありたり、

氏、能く地方制度の旨意を體して自治の發達を圖り尤も心を教育に用ひ又た實業の奨励に熱心せり、執掌多年、諸務整理し尙に公同の事業に勤勉し、勞効極めて現著なるものあり、

且夫れ黒駒村は往年党派の軋轢ありて民情和せず頗る自治の本旨に違ふものありき、然れども漸次協同の念を生じ安輯の要を覺り、今や又た往年の紛紜なく和協以て一村の福利を圖るに至り、中央鐵道開通後、經濟上の變動を受けて從來交通往來の爲めに衣食せる村民は忽にして生業を失ひ、一時は非常の慘況を呈せんとせしも漸次農桑

に從事し、並に産業の方面に熱心するに至れり。素より一時の變動は甚だ激甚なるものありたるも、反て之が動向と爲り着實なる事業に從事するに至りしは大に喜ぶべしと爲す。吾人は此機を逃さず、益々地方自治の發達を計り、地方産業の進歩せんことを希望して已まざる也。

中島佐一郎君

(白風社々長)

實業家を以て自ら社會に優待するの人多し。然れども社會公共の事業に冷淡也。社會公共の事業に熱心なるの人士は實業に短なり。殊に峽中には實業家多し、然れども社會公共の事業に熱心切なるの人士少し。此間に在りて中島佐一郎君の如き、實に實業界中の一異材として認むべきの人也。君、甲府市山田町の人、蠶及び生糸商を營めり。從來峽中の實業家、權を以て主とし、策を以て旨とせり。然るに君の如きは常に信實と堅確とを以て本領とし、着實眞實を以て商標として十年一日の如し、之を以て實業者間に於て一頭地を抜き日に月に社會の信用を増加せり。且夫れ爾及び生糸

は縣下に於ける唯一の産業にして、其業の盛衰消長は一縣の經濟に多大の關係を及ぼすを以て、當業者たるものは成るべく公共的思想を以て之が經營に當らざる可らず。之を以て君の此業に當るや、勉めて誠實と公共思想とを以てし、敢て一身一己の利害にのみ拘泥せず、可及的社會の利害より打撃して衆望あり誠實に可き實業家たり。君、既に峽中に於ける實業家中に一頭地を抜くを以て全國各要地に多くの取引を爲し年内に於ける取引高價に驚く可きの額に達せり。君、一方に實業に誠實なるのみならず、夙に慈善心に富み、時局の爲め不景氣の打撃を受けて困苦を告ぐるや、率先して自己所有の借家人に對し進んで之を引下り、大に慰諭する所ありしは、實業家として誠に感すべきの行爲たりとす。

故望月守太郎君

峽南の地、富士河邊、夙に識才と徳望とを以て稱せらるるの人、望月守太郎君を推す。氏は富河村の名門にして資産家を以て遠近に聞ゆ。

氏、壯にして東京に出て早稻田專門學校に學ぶ業を卒へて郷に歸る。多年經營の苦を嘗められたるの結果、病魔の襲ふ所を爲ししも郡民の囑望は愈々重く遂に身を挺し病を犯して縣會議員と爲れり。時に加藤知事の來任に際し縣下政友會派と非政友會派との争鬪烈しくして、氏は峽南の勢力は提げて政友會派に投じ大に奮起する所あり。遂に推されて副議長の地位に就けり。由來氏の縣會議員たるは、之れ郡民の己むなきの職に當つるを以て、勉めて地方の利害を研究し、其の犯すを念とせり。汝々として議場に於て、熱心に論述せし峽南の道路問題は、則ち其當時に於ける唯一の生命なりし也。往年、當街道の改修の議の議場に現はる。氏は、創切痛激の辯を以て改修の必要を論述せり。今日峽南より駿州に至るの道路の改善せしは實に氏の力與つて多しと云ふべし。

山梨名士傳終

◎山梨自治史賛成員

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大森慶次郎  | 堀内正順   | 中村昌    | 雨宮喜兵衛  | 林義則    | 望月三四郎  |
| 成島治平   | 佐竹作太郎  | 林茂美    | 望月房吉   | 相良宇十郎  | 磯部正佐   |
| 小林重作   | 遠藤讓    | 山本巖太郎  | 林岩吉    | 鷹野福保   | 雨宮徳平   |
| 早川三郎   | 若尾民造   | 望月宗正   | 林寅吉    | 早川治右衛門 | 内藤文次郎  |
| 田中文甫   | 内藤東一郎  | 數野齊十郎  | 山村英通   | 飯島孜衆   | 早川安吉   |
| 村松敏三   | 深澤清    | 乙黒武十郎  | 古屋由丸   | 中澤正夫   | 角田清次郎  |
| 村田正之   | 土屋儀八   | 菊池實次郎  | 小林雅文   | 末木喜太郎  | 神宮司榮次郎 |
| 末竹清右衛門 | 雨宮源兵衛  | 猪股與兼   | 渡邊惇    | 小田宗三郎  | 末木清次郎  |
| 丸茂文哉   | 山梨家畜病院 | 五味安晴   | 清水茂松   | 村松甚藏   | 鈴見直任   |
| 山本伊作   | 武田千代三郎 | 坂本保之   | 村松友吉   | 天野重平   | 早川助重   |
| 八代秀雄   | 三枝義治   | 長坂喜一郎  | 坂田忠太郎  | 野澤宗辰   | 河野治三郎  |
| 藤田正義   | 高見澤重典  | 堤作次郎   | 齊田齊英   | 乙黒直方   | 野口銀藏   |
| 尾澤親    | 高澤米太郎  | 渡邊兵次郎  | 大津平五郎  | 進藤つる   | 七澤林藏   |
| 杉山榮枝   | 高澤米太郎  | 林紋次郎   | 島田棟藏   | 石水惣十郎  | 山縣昌吉   |
| 山本保    | 小林貞規   | 早川元兵衛  | 村田與三郎  | 吉田義輝   | 河野通輝   |
| 内藤圓次郎  | 岡大吉    | 河内彌右衛門 | 北原爲十郎  | 米澤資次郎  | 興石勲    |
| 朝比奈平治  | 長田旭    | 藤田正邦   | 雨宮安左衛門 | 櫻井金作   | 深澤喜太郎  |
| 川上雅登   | 廣瀬慶次郎  | 萩原逸郎   | 今井文太郎  | 丸山賢    | 中込國太郎  |
| 丸茂彦作   | 中島佐一郎  | 市川文藏   | 小林和作   | 中澤重吉   | 横田榮治郎  |
| 廣澤留次郎  | 重石興業社  | 戸井辨次郎  | 鷹野甚兵衛  | 藥袋秀太郎  | 小林小太郎  |
| 秋山重助   | 里吉安太郎  | 山本忠右衛門 | 久保島嘉四郎 | 大津尙    | 長澤知吉   |
| 里吉七造   | 輪野弘毅   | 落合重徳   | 今井保一郎  | 田中三左衛門 | 田中純造   |
| 野口英夫   | 芹澤藤左衛門 | 鈴木豐次郎  | 磯井周策   | 田中三左衛門 | 松木昌命   |
| 奥村正左衛門 | 磯野豊    | 淺川友造   | 磯井周策   | 山本嘉四郎  | 宮崎三四郎  |

羅田半四郎	古屋專藏	磯部平次郎	長谷川嘉兵衛	相原 啓	佐田 清	望月富四郎	海野 重貞	中澤 彌	後藤 太平	田中 豐文	笹木猪三郎	秋山孫太郎	玄間直次郎	伊藤うた子	本村 藤香	湯原直平	齊藤 恒	小池 金作	興石 新七	土屋 調五郎	石田 民藏	土屋 愛造	市川 莊吉	田中清次郎
盛集清次郎	清水一政	深澤 順	三神 勇七	曾根勘左衛門	堀内文太郎	内藤大治郎	大間 文哉	松井 賢歡	後藤 康廣	山下文太郎	秋山林次郎	瀧田 壽之	長倉 照子	長谷川勝太郎	古屋 景秀	三神 三郎	五味 武	林 壽太郎	山本 貞	伊藤 泰治	宮原 忠正	一瀬 熊次郎	石原 宗平	望月 信重
木村貫一郎	井口政吉	信立寺執事	林 作右衛門	百瀬 幾彌	新海米三郎	坂田 團治	能勢 頼俊	大森 作太郎	鈴木 力	遠藤 玉吉	樋口 桃雲	藤原 忠夫	羽中田仁三郎	千野 丑太郎	田崎 要	相原 文吉	松井 虎治	土肥 茂吉	三井 尚正	樋口 半六	興石 龜五郎	小宮山彦左衛門	龜坂 衆吉	樋口 繁太郎
川崎 善三郎	丹澤 喜八郎	望月 宗平	金邊 八三郎	矢島 爲吉	中込 佛造	深町 武雄	天野 運送店	土屋 宗幸	尾澤 嘉三郎	葛西 千秋	瀧澤 泰洋	小田切 柳吉	金子 康造	長田 賢	八木 龜太郎	小田切 秀	原田 傳治郎	興石 庫三	中込 丑治郎	小池 松太郎	横山 善十郎	重松 達一郎	花輪 元市郎	鶴田 健六
保坂 嘉藏	河西伊左衛門	關 光次郎	向山 軍次郎	繩泉 成憲	宇田川 康平	鷹野 猶次郎	秋山 幹光	田中 龜次郎	坂本 豐甫	鹽島 豐一	樋口 仁三郎	土屋 友次郎	南湖 報德社	原 準太郎	五味 秀英	五味 謙柄	野呂 瀨 涉	久保寺 匡正	萩原 長藏	小野 徹	中島 政一	小澤 又五郎	小川 保	齊藏 倍藏
松谷 祿郎	河西 愛藏	鈴木 宗氣	中澤 徳太郎	長澤 義一	土橋 正道	内藤 春信	名執 壽一	松村 準一郎	中澤市右衛門	村松 茂明	廣瀬 和青	大木 親	望月 也足	藤森 奇詮	河西 健造	内田 文四郎	土屋 松次郎	武谷 等	荒木 林太郎	穴水 善次郎	中島 茂平	鶴丸 文藏	細田 才次郎	秋山 正

成 員

二

相原保太郎	穴水彌一郎	秋山 庄録	小田切長右衛門	志村林次郎	波多野傳四郎	齊藤直太郎	向山市郎左衛門	飯野 健造	小川 芳	蘆澤 正敬	中込 豊松	福島製糸場	名執幸右衛門	小笠原 寛	花輪 傳兵衛	名取丹重郎	保坂代右衛門	澤登 喜始	齊藤 和重郎	宮田 良	石川格二郎	飯久保直太郎	望月 浦延	北村 作平
中島 五郎	秋山保五郎	大柴嘉十郎	小野六三郎	矢崎 良吉	手塚 繁治	金九宗之助	飯野太右衛門	淺場 良久	手塚 正次	手塚 藤次郎	小野 戒三	若尾 豊次郎	飯野次郎吉	澤登 助次郎	齊藤 才次郎	河野伴右衛門	保坂善右衛門	齊藤 源重	中島 庄兵衛	竹川房二郎	野中 豊七	藤 隆一郎	飯田 庄太郎	藤卷 喜十郎
川手 應之	鹽澤 安重	志村 作兵衛	市川 倉造	林 熊男	梅津 新兵衛	大澤 伊三郎	島田 映信	喜多島 豊三郎	森田 恒	石原 光三	星野 芳次郎	石原 彦太郎	米倉 善八	三枝 基	河村 彌三郎	藤田 胸太郎	齊藤 經政	相川 傳一郎	廣瀬 鶴五郎	佐倉 強哉	加藤 平四郎	村松 彌二郎	石氏 兵作	手塚 語重
丹澤 六郎	石川 郁太郎	時田 磯太郎	西川 重豊	鈴木 銀造	駒井 壽太郎	小澤 儀三郎	清水彌五右衛門	高橋 貞碩	矢島 榮助	深澤 榮造	石原 新三郎	清水 七三郎	小澤 政兵衛	大山 綱昌	土岐 嘉平	牛田 唯一	毛受 照成	依田 道長	市川 正意	太田 秀穂	六川 謙吾	郷 佐七	中村 正知	寺田 喜平治
矢崎 榮次郎	河西 逸馬	武田 善平	保坂徳左衛門	富田 保一郎	青木 寛	袖山 正志	保坂治左衛門	久保田 宣朔	早川 雄太郎	秋山 和吉	中村 正持	小林 小六	望月 孝行	本莊 岩五郎	神島 壽太郎	上矢 喜平治	田邊 富繁	木村 金之助	嶺 文 明	櫻井 英之助	別所 別	齊藤 音作	岩田 龜松	望月 小太郎
寺田 忠三郎	久保田 恭禮	志村 待作	日下 龜太郎	松浦 儀兵衛	古屋 彦太郎	長田 總吉	萩野 儀十	山下 慎徳	吉岡 順作	權太 政	乙黒 瑞鼎	深澤 平重	石原 直太郎	長谷川 倉吉	長谷川 源之丞	藤井 米治	小林 八右衛門	小田切 幸七	久保寺 源内	望月 留吉	鈴木 興義	西村 榮十郎	秋山 文七	鈴木 彦七

成 員

三

矢崎與三郎	穴水嘉三郎	古屋崎太郎	望月小三郎	三村 陳就	三浦利兵衛
村松 登吉	木川 庄兵衛	高橋 興次	田中 晉策	中込清左衛門	加賀美昌保
久保田 守平	八田 達也	佐野 治郎	原七郎兵衛	田形 幾吉	萩原唯治郎
飯田 知房	八田 政忍	宇佐美 一實	齋藤長治郎	額田清右衛門	山岸 留藏
齊藤武兵衛	雨宮 作甫	野口 忠藏	稻垣 治	谷戸 清七	小野 吉藏
志村 政誠	小野 義太郎	宮澤 房藏	中川 太郎	岩本 正木	立石兼太郎
小野元兵衛	吉澤 儀	鶴田 穂積	甘利文太郎	志村 勘兵衛	原 竹一郎
若尾勘五郎	萩原 繁吉	篠原 班藏	秀島 醇三	大庭 察門	守月 晃
小澤 光成	小野 治甫	茂手木 與一	田邊 操喜知	角田 光玉堂	櫻井 金作
三井 清	秋山 平兵衛	西山 松三郎	栗原 信近	内藤伊三郎	早川 善太郎
豐田 熊次郎	石原儀右衛門	中村 保之	竹村 益次郎	奥山七郎右衛門	飯島松四郎
中村好太郎	廣瀬 久政	加藤勘兵衛	菅沼 計三	根津 寅吉	小野 正義
菊島 米吉	金丸 傳四郎	蘆澤太左衛門	奥山 源藏	跡部 峯太郎	古屋兵部左衛門
金丸 久吉	鈴木 保太郎	寺本庄左衛門	長田 弓賢	奥山 作右衛門	和田 知英
橋本啓次郎	長澤 甲子郎	小川 清貴	飯島 信義	堀内 皇國	小林 豊都
古屋 龍憲	小林 政藏	飯島 信豐	飯島 信一男	林 寛次郎	高味友三郎
鈴木 圭主	一蓮寺 執事	今井茂右衛門	櫻 國 造	金子 常次	佐藤 三郎
大辻 徳悠	田 沼 惣七	菊島 生宜	長坂八郎右衛門	藤森 由平	長島 徳太郎
進藤 平三郎	菊島 生宜	古屋 久昌	飯島 知貞	藤生 健二郎	内藤 幸吉
萩原 重年	池田 甚左衛門	廣 願 貢	根津 一秀	井上 源治郎	小野 徳兵衛
中村 善助	廣 願 貢	山下 藤太郎	山下 保作	杉野 庄太郎	河野 百太郎
橋爪 利作	石原 賢造	山下 藤太郎	株式會社丸屋魚問屋	白倉 友吉	土屋合名會社
田邊 七六	石原 賢造	山下 藤太郎	石井 芳次郎	森田 林次郎	杉田 孫兵衛
赤嶺 忠恕	プレネトン	山下 藤太郎	石井 芳次郎		三神 禮治

矢田 利八	齊藤 佐太郎	佐野 信雄	林 義剛	百瀬 象五郎	株式會社藤崎貯金銀行
小野 徳太郎	天野 佐久間	網野 善右衛門	花曲 徳次郎	長屋 定四郎	株式會社第十銀行支店
小 巖 金作	内 藤 定太郎	佐藤 鶴太郎	堀口 豊作	岩下 貞寛	小野 豊五郎
鈴木 會兵衛	志村 三代藏	加藤 岩吉	原田 福太郎	藤崎 醫院	杉山 幸男
島 吳 服店	三浦 熊吉	河野 徳平	長谷川 米藏	清水 志右衛門	早野 吉藏
小澤 七五郎	中村 文次郎	雨宮 彦太郎	小林 瀧三郎	山田 權四郎	百田市左衛門
杉野 恒次郎	永井 勘吉	岩岡 庄内	雨宮市右衛門	榎 房平	平島 定治
神崎岩村役場	吉岡 茂十郎	古屋 瑞清	霜之下 羅合資會社	岩田 常吉	岩下 久八
堀内 善之丞	近藤 林右衛門	中込 榮枝	内田 喜代作	藤島 平左衛門	小林 有徳
近藤 正一	雨宮 兵衛	山田 顯	成島 傳太郎	富田 泉義	鈴木 孝三郎
雨宮 五郎	秋澤 順次郎	早川 文太郎	松坂 伍甫	吉村 泉	河口 善之助
秋澤 順次郎	劍持 元次郎	津島 逸平	芹澤 傳右衛門	林 精一	牛田 五郎
川崎 順道	丸山 三九郎	津島 逸平	安田 榮藏	北都留郡甲斐同業組合事務所	後藤 善四郎
川崎 武平	杉田 茂	堀内藤左衛門	土屋 保壽	樽野 昌之	山本 福三
南島 七藏	鶴田 憲亮	宮崎 光太郎	雨宮 作左衛門	鈴木 正平	磯田 決
加藤 健五郎	山田 健工場	野田 儀一	探越 藤太郎	根本 喜重	三枝 七内
福田 兵衛郎	内田 善吉	加賀美 康次郎	松下 賢之進	新津 隼人	小野 延太郎
三井 宗三郎	中澤 紀	探原 甲子太郎	保坂 喜六	雨宮 敬次郎	森山 辰之助
藤田 善仙	加々美 東一郎	百瀬 誠一郎	仁科 康藏	牧野 環	淺川 平八
丹澤六郎右衛門	中澤 秀太郎	岩下 仙太郎	藤卷 豊丸	大木 喬命	金丸 國次郎
關木勘左衛門	小澤 梅夫	小林 七朗	河野 謙	木下 寅雄	深澤 正一
桃井 康容	梶原 安平	山寺 元治郎	岩下 文一	成澤 治道	西川 國次郎
				山縣小左衛門	長田 恒右衛門

加賀 明	平岡 柳作	堀口 嘉寛	一瀬 益吉	原田 忠次郎	長澤 桂之
林 光徳	星野 四郎	丹澤 直吉	丹澤平左衛門	若松 民造	若林 佐登
杉村 芳太郎	小宮山 民平	小林 峯太郎	水上 笑作	伊藤 丑野	宮澤 政一
矢崎 忠雄	早野 金藏	深澤 八郎	河西 善齊	依田 茂吉	堀川 正作
山田 彌兵衛	小野 三七	稻垣 要	菊池 留太郎	白田 金作	和田 恒作
山口次郎兵衛	山中 美登	青柳 直道	中澤 實松	安藤 義文	花岡 晴太郎
久保川 運兵	飯島 彌兵衛	小林 茂八郎	長田 米作	小林 文太郎	島田 正巳
市川 銚次郎	齋藤 福藏	長田 佐重	小林 千次郎	小林 新三郎	神田 勇右衛門
小田 切米太郎	岸 金三郎	中込 高十郎	上田 伴藏	和智 茂一	神田 勇右衛門
川谷 五二郎	塚原 宗八	中込 高十郎	中込 又兵衛	小川 日貞	秋山 元藏
山本 福太郎	甲府電力株式會社	藤澤 基左衛門	伊藤 金重	神田 助六	小泉 信英
瀧田 治三郎	安藤 喜一郎	鷹野 孝一	佐野 延太郎	堀口 伴六	向山 源吉
窪田 正治	八木 伸次郎	小澤 丑松	内藤 吉壽	小林 彦太郎	小林 清一郎
志村 新作	福島 爲則	佐野折右衛門	齊藤 禹策	仙洞 丈之甫	齊藤 長太郎
山本 延治郎	秋山 喜兵衛	大森 常藏	加藤 政重	齊藤 芳香	新海 信
村松 猪八郎	渡井 豊松	内藤 米松	渡邊 榮六	志村 七右衛門	原田 彌市右衛門
丹澤 孝平	奥野 治平	都築 照松	伊藤 敏實	秋山 八十郎	青柳 禮之
長澤 義敏	勝田 正敏	岩崎 正三	篠原 信康	牧野 倉太郎	雨宮 英一郎
飯島 篤雄	有泉 米松	伊藤 貴策	日向 清吉	望月 市太郎	渡邊 高平
大寄 文左衛門	依田 辰藏	日向 文四郎	日向 清吉	望月 市太郎	大野 實依
渡井 孫太郎	村松 喜則	若林 謙三	長澤 信義	小澤 泰宗	井上 丑藏
小島 万吉	相川 治兵衛	若林 安藏	依田 秀植	小池 莊甫	有泉 民藏
渡邊 常三郎	奥野 壽世	若林 貞吉	望月 理平	秋山 日晴	堀口 龜藏
橋田 忠一	小池 太三郎	若林 貞一	奥野 隆治	高下 小學校	雨宮 貞貴
土橋 静美	太田 義雄	佐野 千之	佐野 信正	望月 忠太郎	堀口 八助

望月 熊太郎	依田 倉造
依田 戸右衛門	堀口 定太郎
望月 勝五郎	望月 傳四郎
堀口 開造	川口 市太郎
依田 嘉門	堀口 光豊
川口 佐太郎	堀口 豊
鈴木 金作	望月 遥
島津 巳之三	秋山 正
佐野 九右衛門	小松 勘藏
依田 重昌	佐野 市太郎
佐野 倉藏	笠井 惟造
佐野 唯兵衛	望月 友十郎
深澤 太郎	依田 常吉
本山 純信	堀口 治右衛門
永井 浩	加茂 巖透
河内 松次郎	平山 健雄
佐野 徳平	雨宮 孝太郎
笠井 半平	諸角 杉松
小泉 千代吉	金塚 義安
佐野 重直	(以上豫約順)
渡邊 順作	
河西市右衛門	
古屋 六太郎	
望月 喜八	
牧野 文七	

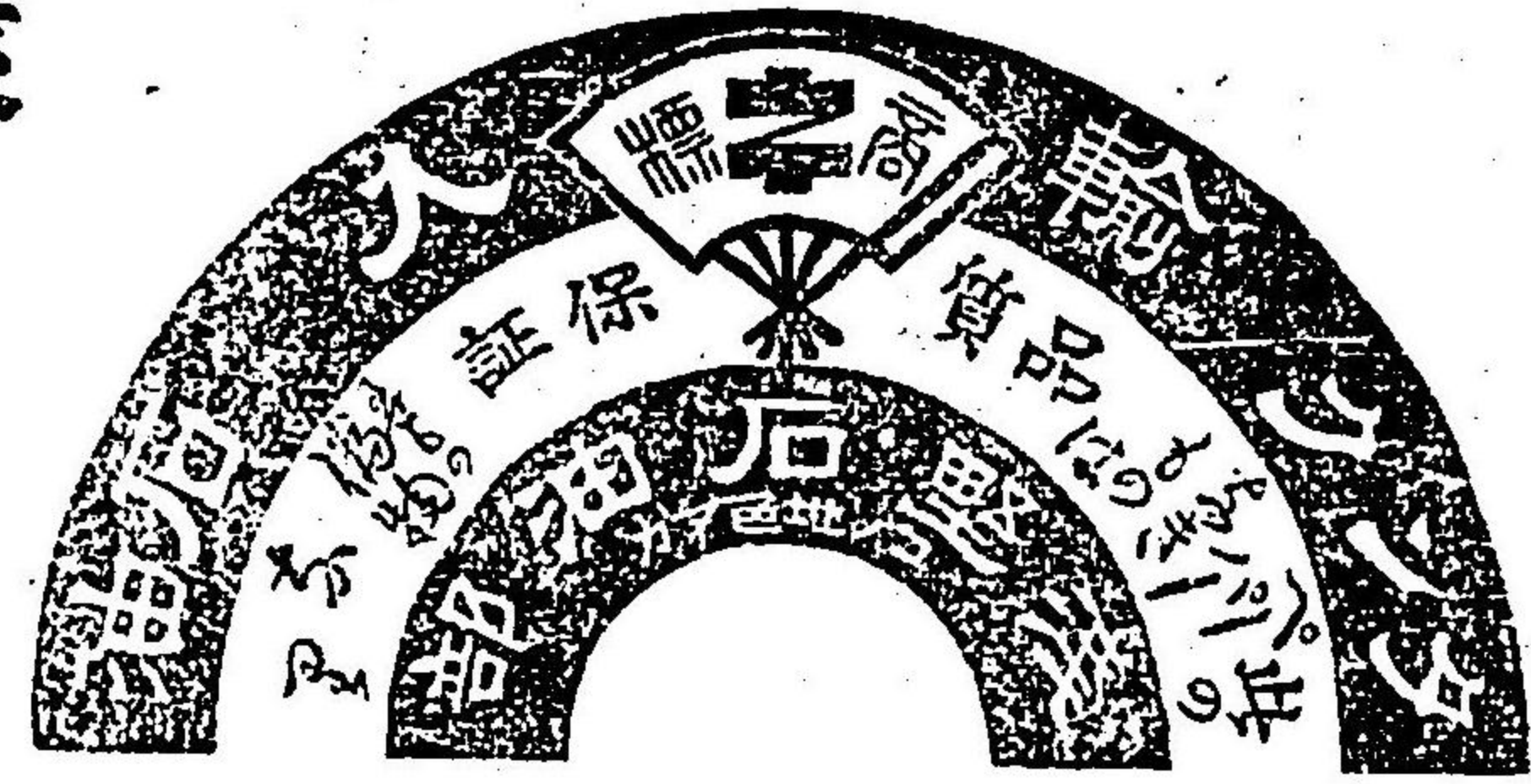
山梨自治制史編纂員

豫約事務取扱員

小澤 柳涯	岩田 鶴城	林 信次	中澤 樂平	上野 喜代松	伊藤 喜重	小林 森太郎	望月 憲治
-------	-------	------	-------	--------	-------	--------	-------

舶

來



淺野タングラ石油

タンクハ 品質ノ精良ナル内外石油第一等ナリ  
 タンクハ 産出ノ富饒無盡蔵ナル世界無双ナリ  
 タンクハ 白色透明ニシテ臭氣ナキ最良品ナリ  
 タンクハ 引火點高シテ危険ナク極テ安全ナリ  
 タンクハ 油煙更ニ無ク光輝鮮明ノ純良品ナリ  
 タンクハ 嚴寒ニモ火力萎縮セザル優等品ナリ  
 タンクハ 消費ノ割合少シテ枿目最モ多量ナリ  
 タンクハ 文明的運搬方法ヲ用ヰ極テ廉價ナリ  
 タンクハ 全國至ル處ニ特約販賣店ノ設備アリ

發賣元

東京 淺野石油部  
 橫濱 淺野油槽所  
 甲府市停車場西 淺野荷扱所

廣告

甲府市常盤町四番地

# 株式第十銀行

貸附割引預金爲替送金其他銀行一切ノ業務確實便利ニ取扱候間御引立被下度候

●廣告

甲府市櫻町二丁目常盤町通り

# 勉強亭旅館

△市ノ中央ニシテ停車場其他エ鐵道馬車ノ便アリ  
△室内清潔ニシテ多數ノ客室ヲ設備セリ  
△諸事輕便ニシテ宿料低廉ナリ

館主 作道嘉吉

●廣告

營業種目  
定期預金 當座預金  
特別當座預金 貸付金  
當座貸越金 手形割引  
送金 電信送金  
荷爲替 代金取立  
公債現賣買 株式現賣買  
國庫債券又ハ確實ナル有價証券ニ對シテハ精々低利ニ金融ノ御相談可仕候間御申込被下度候

甲府市柳町四丁目六拾參番地

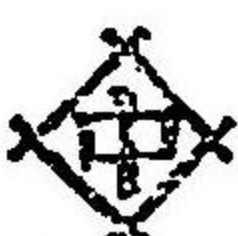
# 大森銀行

東八代郡南八代村百〇八番戶

# 同八代支店

二

甲府市綠町二丁目



登録商號

# 河安商店

里吉安太郎

營業課目  
吳服太物洋物類  
洋服各種  
精酒長著正宗  
下總醬油  
荷卸 葡萄酒各種

- 西洋服裁縫
- 西洋小間物
- 蝙蝠傘製造

甲府市櫻町四丁目

川手儀八

三



廣告

中 央 東 線

菲崎停車場前  
內國通運株式會社  
取引店主

杉山 幸男

全國鐵道貨物取扱

富士川運輸合資會社ノ取引ヲ兼テ船舶  
貨物ノ取扱ヲ爲ス

七星商會 山田權四郎

甲州菲崎町

- ◎大豆及大豆粕
- ◎肥料類一式
- ◎壁用附品一式
- ◎東京深川釜屋縣東京人造肥料株式會社の肥料  
特約一手販賣
- ◎東京神山道田町十文字商會英國製重過燐酸肥  
料特約販賣
- ◎甲信石灰特約一手販賣
- ◎海產肥料
- ◎生石灰白土類一式
- ◎セメント

廣告

營 業 種 目

- 貯蓄預金 定期預金
- 當座預金 貸付金
- 當座貸越金 手形割引
- 送金 電信送金
- 荷爲替 代金取立
- 公債買賣 株式買賣

北巨摩郡菲崎町千九百十番地

株式會社 菲崎貯金銀行

全 郡若神子村

同 若神子支店

全 郡菅原村

同 菅原支店

營 業 課 目

- ◎倉庫部
- 貨物保管 荷爲替引受
- ◎委託部
- 米穀肥料石油 買付委託
- ◎質業部
- 質屋業ニ關スル 一切ノ事務
- ◎雜貨部
- 文房具學校用品
- 洋物化粧品雜貨
- 教育圖書機械販賣



百瀨本店

山梨縣菲崎町  
電話號碼(モモセ)又(ハモセ)  
菲崎局私書函第一號

北巨摩郡菲崎町

株式會社 菲崎銀行

銀行一般ノ業務確實  
便利ニ取扱可仕候

本店 菲崎町

出張所 菲崎停車場前



擴達運送店

店主 岩下貞寬

全國鐵道貨物取扱  
確實迅速

五

甲府市櫻町一丁目横丁

(山田町見附)

寫眞 興水精一

丁寧親切廉價

(祝戰捷)

一軍人及軍屬者ハ總テ定價ノ半額トス  
一本書ヲ切テキ持參者ハ總テ定價ノ貳割引トス

甲府市柳町四拾四番地

無限責任 松浦銀行

銀行一般の業務確實親切を旨とし便利に御取扱申候  
各地送金無手数料を以て御取扱申上候

全國鐵道 積貨物取扱

甲府驛前水門町貳拾六番地

中央 山梨運輸合名會社本社

代表者 新海米三郎



甲府市魚町

東 山梨運輸合名會社

荷扱所

線 丁寧迅速

確實勉強

甲府市上連雀町

石井芳次郎

海陸物産委託賣買

兼業

土木建築請負

御詔染物廣告

弊工場の染物は從來の染方と異り何れも化學を應用して染出致すものに候へば染色の不穩と生地の堅牢なるは契て保証仕候就中更紗及小紋は弊工場獨特の妙技を以て光澤麗はしく永久摩擦に地ゆるは第四五博覽會及各地品評、競技、出品曾等到處にて賞讃受牌にても確證致さるゝ義に御座候向何卒一度御用命被仰付弊工場の虚言に非らざるを御試験被下度願上候

染物課目

- 美術吾妻小紋 ●御召八千代染 ●優美友仙更紗類
- 堅牢 さくら黒 ●メリンス染 ●各種染物一式

甲府市 小田切悉皆部

櫻町四丁目 小田切米太郎

東京飯田町驛前中牛馬甲州部  
其他各所ニ取引店アリ

明治運送合資會社代理店  
日本酒造火災保險株式會社代理店  
内、生命保險株式會社代理店

甲府運送合資會社本店

大月支店 塩山出張店 日下部出張店  
柳町出張店 龍王代理店 菲崎代理店

本社出資者ハ若尾謹之助佐竹作太郎  
秋山源兵衛小林八右門衛小林彦太郎  
中込虎一等重ナル出資者ニ候

甲府市常盤町貳番地  
日本勸業銀行代理店

# 株式 山梨農工銀行

## 營業種目

貸附農工業改良發達ニ要スル資金ハ低利  
ヲ以テ左ノ方法ニ依リ融通ス

**年度貸附** 十年乃至十五年ノ長期ヲ以テ毎年均一ノ金  
額ヲ償還シ期限ニ至リ全部完済トナル

**代理貸附** 全上ノ方法ニ仍リ勸業銀行ノ代理貸付爲ス

**定期貸附** 五ヶ年以内ノ期限ヲ定メ償還ス

**定期預金** 六ヶ月以上 一年以内 年六六朱  
一年以上 年六六朱五厘

勸業債券貯蓄債券ノ募集及元利割増金ノ  
支拂事務ハ東京ノ外各郡ニ取扱店アリ

甲府市八日町一丁目一番地

株式 若尾貯蓄銀行

甲府市百石町若尾倉庫内

同百石町出張所

一時蓄預金 年六分

國庫債券及勸業債券ノ賣  
買取扱可申候

## 戸田街道馬車

一當組合馬車ハ左記ノ通り駐車場ヲ設ケ  
御乗客ノ御便利ニ備ヘ候

一甲府市百石町新道入口  
一今諏訪村四ツ角

右廣告候也

陝西乗合馬車組合

祝

山梨自治制史發刊

甲府市櫻町三丁目

牛肉舖

吹上セ

西洋料理

割烹兼

松亭

御旅館

甲府市魚町二丁目

純良牛乳 迅速配達

愛宕町 精乳舍

書籍雜誌  
校具印刷

甲府市柳町三丁目  
徵古堂書店

柳 正 堂

- 一 新報書籍は其時々着荷仕居候間御購求の有無に不  
抱御立寄御覽に供候
- 一 弊店持合なき新古書籍は御注文に應じ取寄せ可申  
候
- 一 市内は御申越次第速に物品持參御覽に入れ可申候  
別小學校教科用書に限り其學校より御申越の節は特  
別の割引仕候
- 外 書籍雜誌 古本 學校用 賣買 具一切
- 一 雜誌御注文は凡て前金に中受候
- 一 御照會の節は往復はかきにて御申越後下度神速に  
御返報可申上候
- 一 市外の御注文は即日發送可仕候
- 一 御進物用書籍切手金額の多少に係らず翻製可仕候

甲府市柳町二丁目

精撰牛乳

迅速配達

山梨縣北巨摩郡韭崎町

平島牛乳搾取場  
場主 平島定治

院主元

東京齒科專門學校講師  
宮内省齒科侍醫助手

小川齒科專門醫院

甲府市錦町拾五番地

- 新式電氣透藥無痛金充填
- 新藥「オプテンド」注射無痛的手術
- 院主考案新式義齒
- 其他一般

甲府市相牛町 竹屋旅館

停車場を距ること南へ四丁

静かなる奥座敷新々に落成し

空氣清涼衛生上最も宜しく候

館主 木下豊吉

甲府市八日町

奥村旅館

甲府ノ中央ニシテ諸事

御便利ヲ計リ室内最閑

静ナリ

館主

奥村宗十郎

米國最新流行形

洋服  
裁縫

甲府市櫻町三丁目

荒井洋服店

● 廣告

● 廣告

10

株式會社 **市川納稅銀行**

今般新築落成移轉に付銀行一般業務一層擴張し營業候間御取引被下度候

定期預金 當座預金  
貯蓄預金 定期貸付  
爲替 當座預金貸越  
公債賣買

其他銀行一切の業務確實に御取扱可申候

西洋御料理  
神戸牛肉卸小賣  
及豚肉卸小賣

舞鶴公園の附近にして眺望絶佳室内清潔四時來客を待つ

甲府市錦町通り議事堂角

舞鶴實留亭

山本常吉

法律事務

一切之依頼ニ應ス

辯護士 山本 保

甲府市百石町

法律事務

一切之依頼ニ應ス

辯護士 杉本芳太郎

事務所 甲府市紅梅町拾七番地

法律事務

一切之依頼ニ應ス

辯護士 赤嶺 忠 恕

甲府市錦町三番地

法律事務

一切之依頼ニ應ス

辯護士 鈴木 興義

住宅 甲府市水門町四番地  
事務所 全市常盤町

辯護士 絲山貞規法律事務所

甲府市百石町

● 廣告

勤勉且誠實ニ一切ノ  
法律事務ヲ取扱フ

辯護士 石氏兵作  
甲府市山田町貳番地

法律事務

一切之依頼ニ應ス

辯護士 藤田正義

事務所 甲府市常盤町廿番戸

出張辯護士 江上眞造

官製刻卷煙草各種

甲府市柳町三丁目西側

煙草元賣捌所

峽西商會

甲斐斐崎町

藤井屋號

植松房平

米穀 肥料 粉類

卸小賣商

● 廣告

中央東線

鐵道貨物取扱

電信零號(〇〇)

甲斐斐崎町下町

● 斐崎運送店本店

店主 瀧田米作

斐崎停車場前

同出張店

富士見停車場前

同支店

海產物卸商

甲斐斐崎本町通リ

● 加藤勝吉本店

同停車場前

● 加藤勝吉支店

小淵澤村

● 支店

精實廉價

中央東線



北海道炭礦鐵道株式會社石炭山梨一手大販賣

茨城無煙炭大販賣 肥料卸小賣

甲府停車場前

● 三神運送店

本店 東京飯田町停車場前

支店 三神運送店

山梨縣大月停車場前

支店 三神運送店

全縣日野春停車場前

支店 三神運送店

信州富士見停車場前

支店 三神運送店

荷物運搬の儀は親切と神速を旨として取扱候間陸續御用  
向被仰付度奉願上候

鐵道諸貨物取扱

甲府停車場前出張所

本店 笹子停車場前

● 中央天野運送店

店主 天野昇平

業務擔當人 中山濱平

全國各要地ニ取引店アリ

營業課目

- ◎婚禮道具一式
- ◎膳腕類一式
- ◎白木指物類一式
- ◎諸國漆器類一式
- ◎西洋家具類一式
- ◎木盃調進

甲府市春日町

吉 御諸官衛 保坂商店 用達

電信略號(ホサカ)

事務所を開設し

當市に常住し專

心誠意汎く民刑

其他の法律事務

と取扱ふ

甲府市紅梅町壹番地

兩角法律事務所

辯護士 兩角 斌

事務員 望月 信重

出張辯護士

辯護士 兩角 彦六

辯護士 原田 好郎

甲府市

營業所

地番拾六町緑  
はぎしバリぞみ

無限責任

銀行

行主 石原新三郎

銀行一般の業務確實便利  
に取扱ふ

副業

繪具染料 印度藍 工業用各品 卸  
藥種類 セメント ガラス板類 小  
等つたつのも 又 其他各種 賣

新

和洋銅鐵鋼材  
丸釘鑛山鐵道  
建築用品商  
打及物類

甲府市泉町壹番戸

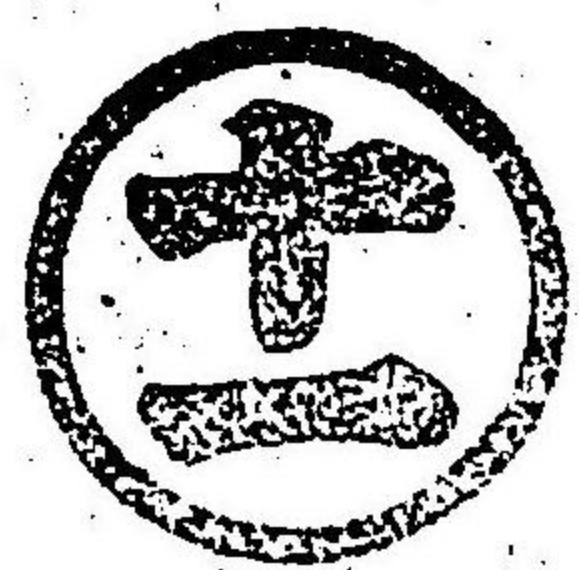
五 石田商店  
店主 石田民藏

廣 告

純良 清酒 君が代  
極上 味淋 花の露

最上 醬油 都茂 惠

右弊醸之精品ニシテ其品質ノ芳冽純良ト  
價格ノ低廉ハ百年一日ノ如クニ有之候間  
増々御愛顧ヲ乞フ



甲府市柳町貳丁目  
十一屋 忠藏

- 各國洋酒類
  - 食料罐詰類
  - 諸國銘茶類
  - 度量衡各種
- 右誠實廉價ニ販賣仕候

野口洋酒店

小間物問屋  
化粧品卸商

河内屋金三郎

甲府市緑町  
梅花堂

- 營業 目 課
- ◎ 諸紙類
  - ◎ 御印刷
  - ◎ 文房具
  - ◎ 筆墨硯
  - ◎ 襖地
  - ◎ 小間紙
  - ◎ 其他種々
- 甲府市 丸代店  
常盤町 商代店  
取一 作

- 一 各製紙會社製洋紙
- 一 印刷洋紙
- 一 小間紙
- 一 襖紙各種

不二製紙株式會社ホール甲府一手販賣

甲府市三日町  
小野清兵衛

誠實勉強  
米穀肥料問屋

キ

佐渡屋號

土屋儀八商店

甲府市上一條町百七番戶

營 業 課 目

- 米穀之部
  - 外國白米
  - 内地白米
  - 全 玄米
  - 全 玄米
- 雜穀之部
  - 大 麥
  - 小 麥
  - 大 豆
  - 小 豆
  - 北 海 黑 大 豆
  - 牛 莊 青 白 大 豆
  - 九 江 大 豆
- 肥料之部
  - 大豆糲
  - 全破碎糲
  - 内地種糲
  - 上海糲
  - 外各種
  - 上海種糲
  - 内地糲



早川元兵衛

藏田屋號

甲府市緑町二十三番地

内外國米穀肥料卸小賣商



甲府市上連雀町  
内國通運株式會社 支店  
甲府市橋町(停車場前)  
内國通運株式會社 荷扱所

當社ハ全國各地ニ支店出張所荷扱所七十  
余ヶ所及ビ特設取引店千有余ヶ所アリ普  
ク連絡ヲ通シ貨物運送上最モ至便ナリ



岡	田	炭	坑	株	式	會	社	甲	信	代	理	店
入	山	炭	坑	株	式	會	社	甲	信	代	理	店
王	城	炭	坑	株	式	會	社	甲	信	代	理	店
磐	城	炭	坑	株	式	會	社	甲	信	代	理	店

東京大村工場製造

肥料用工業用建築用消毒用

石灰一手販賣

純白壁塗用蠣灰大販賣

茨木無烟炭コークス各種

岡田炭

町田炭 全中塊

王城炭

入山炭

甲府市新青沼字橫澤

橋本啓次郎

會席料理

蒲

燒



武藏屋

あ

ゆ

甲府市代官町  
佐渡町四品取引所西



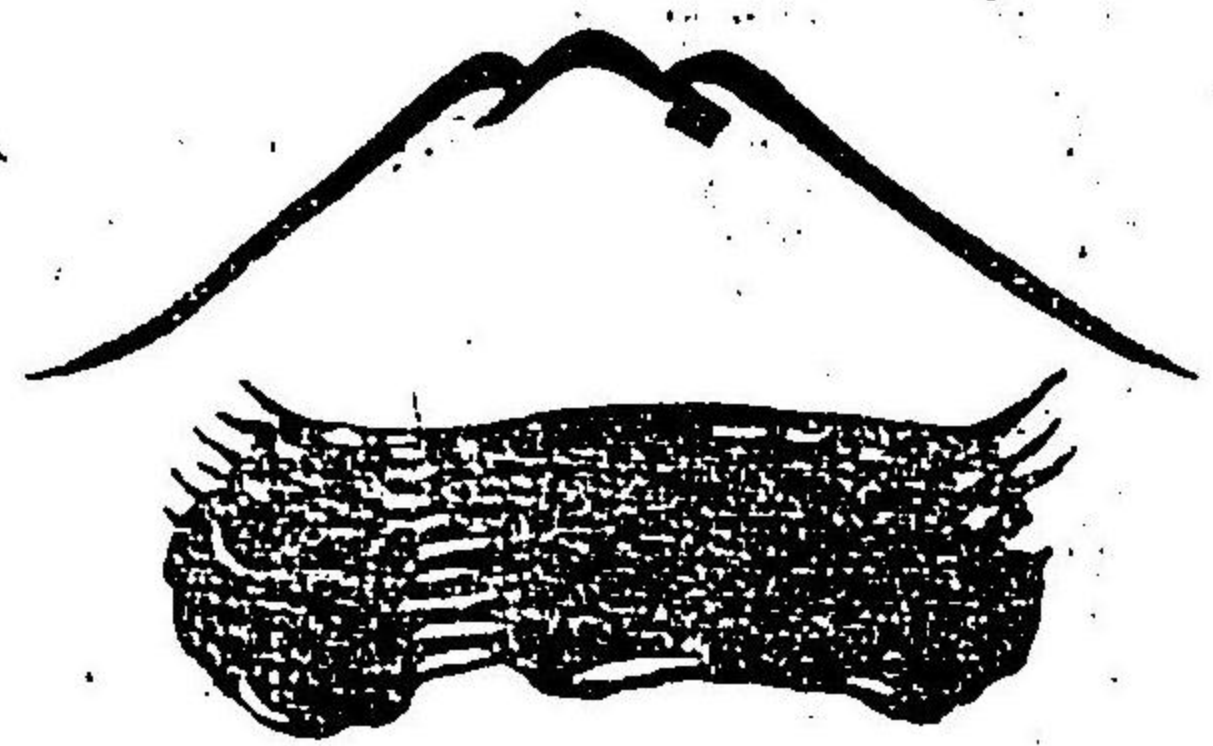
各國織物并二

足袋仕立物

廉價販賣

甲府市太田町

石倉作藏



芳味無双

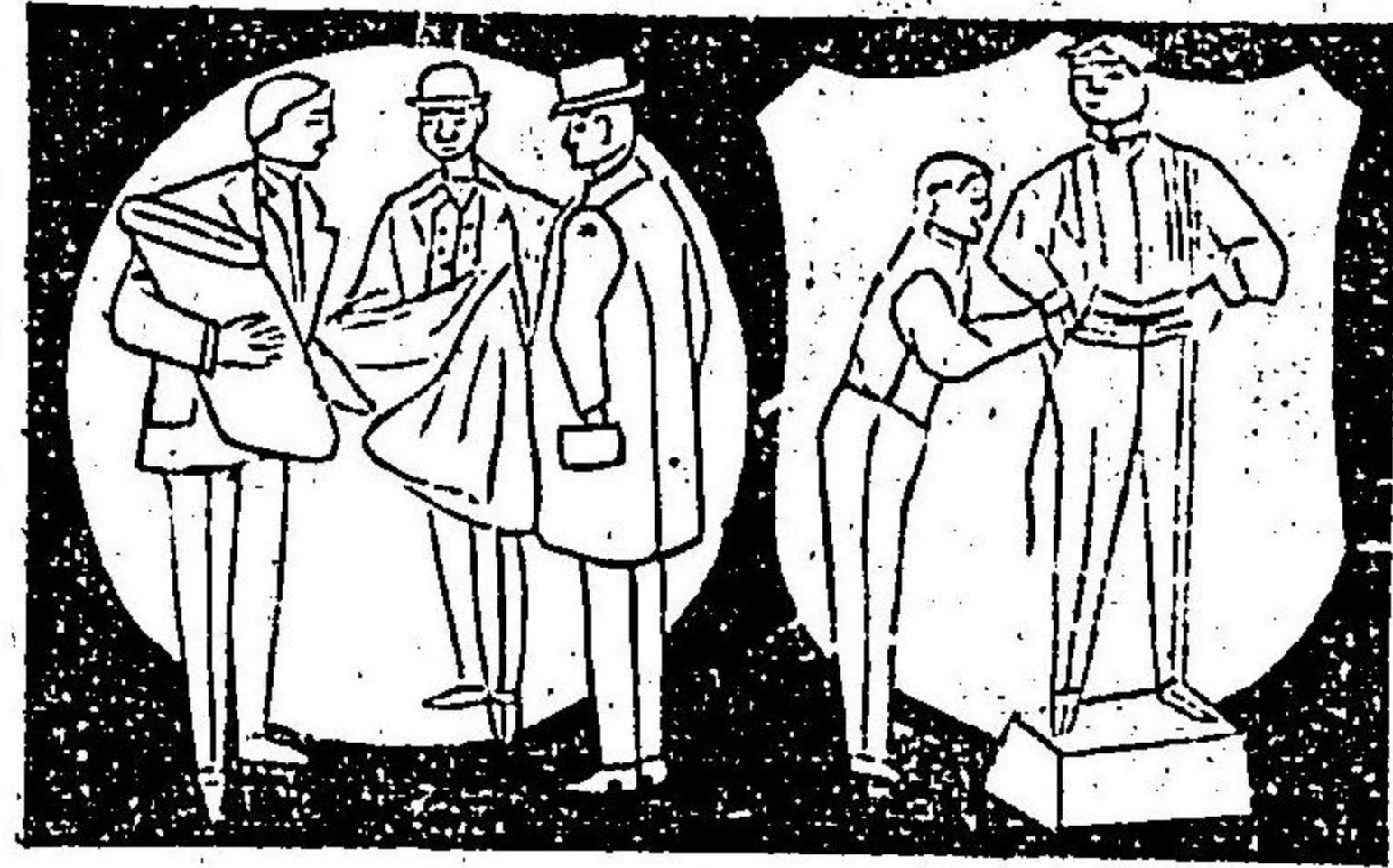
最上醬油

最德用之佳品也

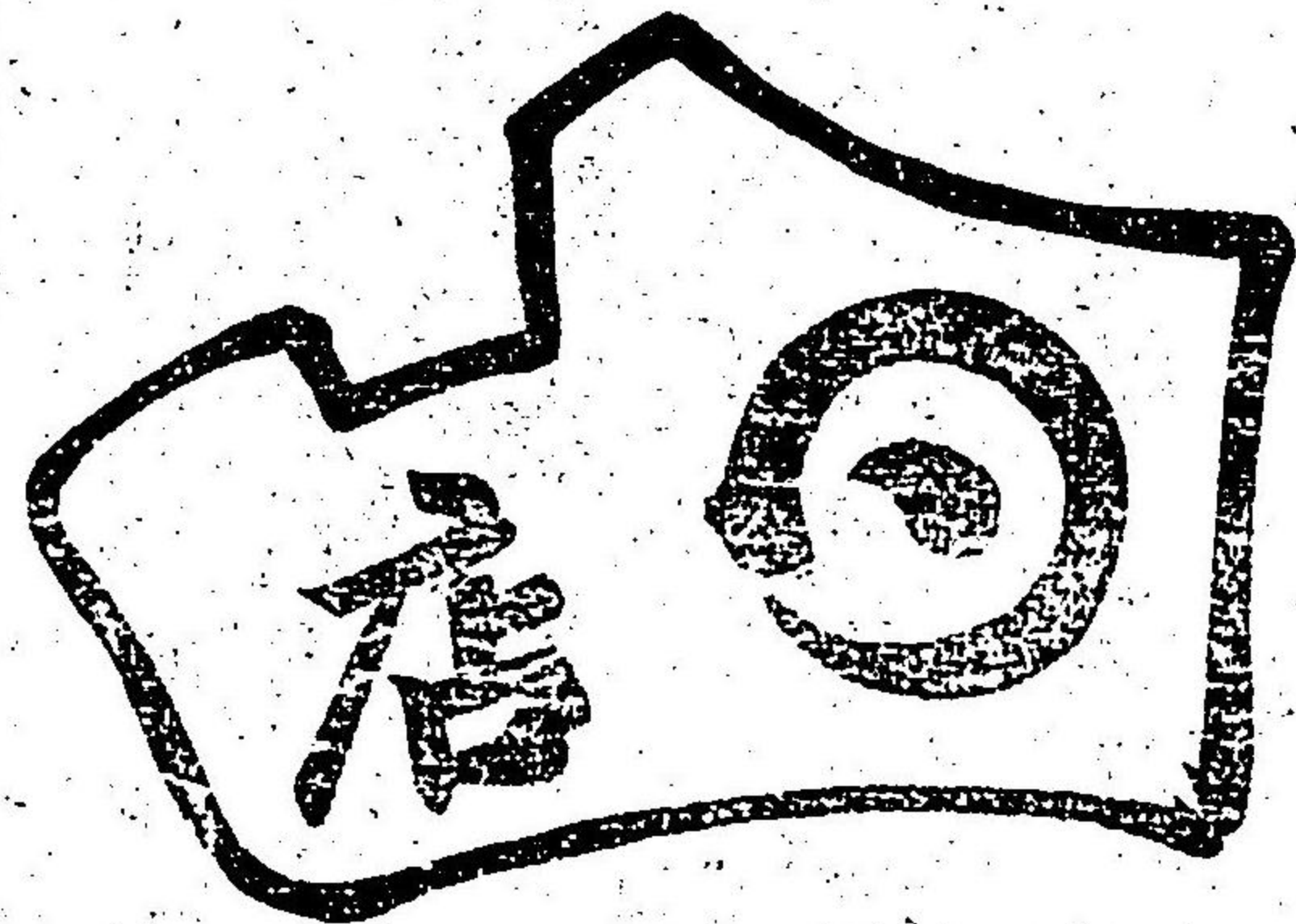
甲府市綠町

製造元 十一屋支店

歐米各各國  
流行形



甲府市相生町  
保坂洋服店



(營業品目)

- 足袋類
- 足袋屋號
- 脚絆類
- 手甲類
- 手拭類
- 股引類
- 草鞋類
- 晒布

長田貞太郎

甲府市八日町三丁目

足袋屋號

お

か

め



製造元 平原麴店部

甲府市緑町

◎甘酒麴

◎味噌麴

◎麥 麴

◎種 麴

◎其他花付一切

國產菓子廣告

一月の栗

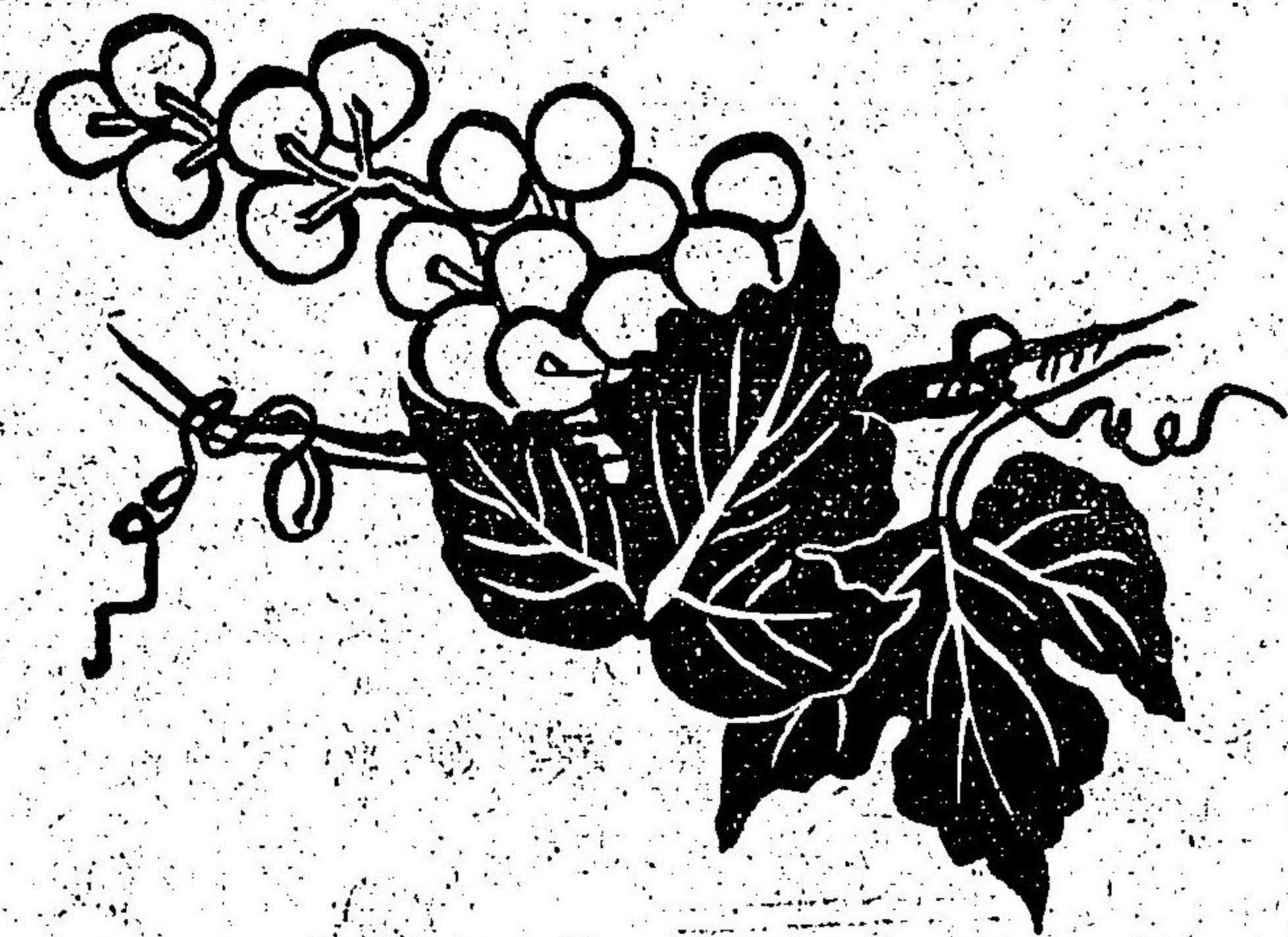
一打の栗

一木の實の雪

一葡萄の羹

一くり羹

一おろ柿



甲府市大字櫻町拾番地

菓子製造家 松林軒豊嶋

高等旅館

甲陽館

米倉旅館

甲府市柳町二丁目

鑛泉浴之設備アリ

● 廣告

● 廣告

三

三

◎各 國 美 術 漆 器 大 勉 强

甲 府 市 櫻 町 三

漆 器 卸 小 賣 商 蘆 川 重 兵 衛

甲 府 市 櫻 町 一 丁 目

御 料 理 仕 出 一 第 柳 葉 半 兵 衛

全 百 石 町 縣 廳 西 通

手 輕 御 料 理 仕 出 二 第 柳 葉 豐 太 郎

專 心 法 律 事 務 に 從 事 し 懇 切 に 取 扱 ふ

辯 護 士 渡 邊 澄 也

事 務 所

東 京 神 田 區 錦 町 一 丁 目 二 番 地  
(電 話 本 局 八 百 八 十 三 番)

住 宅

東 京 神 田 區 花 田 町 六 番 地

明 治 三 十 九 年 五 月 二 十 二 日 印 刷  
明 治 三 十 九 年 五 月 二 十 五 日 發 行

山 梨 自 治 制 史 發 行 所

甲 府 市 堅 町 九 番 戶

林 信 次

甲 府 市 堅 町 九 番 戶

編 纂 兼 發 行 人

同 盟 員

印 刷 者

印 刷



34  
187

34  
281

不許  
複製

明治三十九年五月二十二日印刷  
明治三十九年五月二十九日發行

山梨自治制史發行所

甲府市堅町九番戶

編纂兼  
發行人

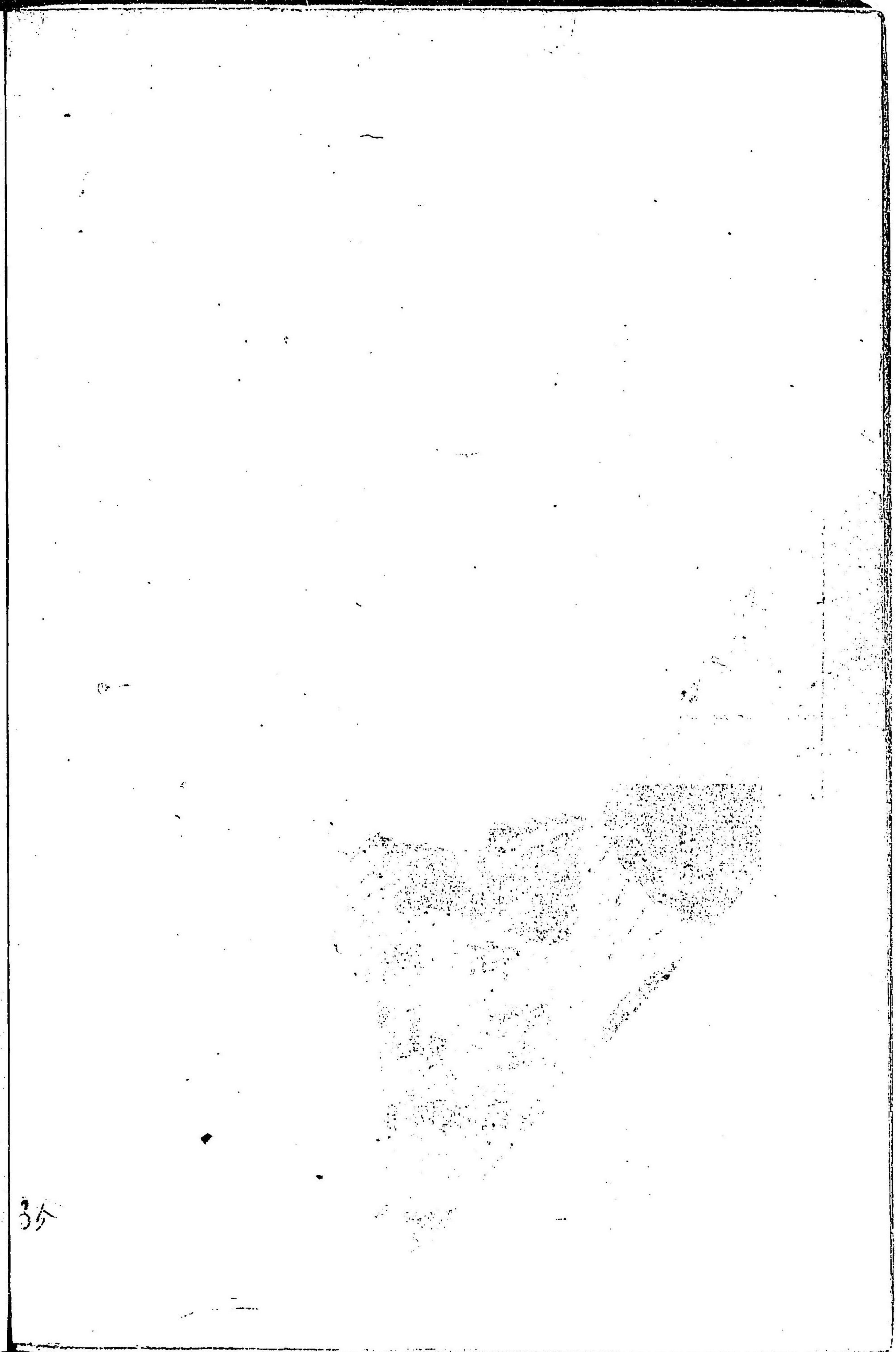
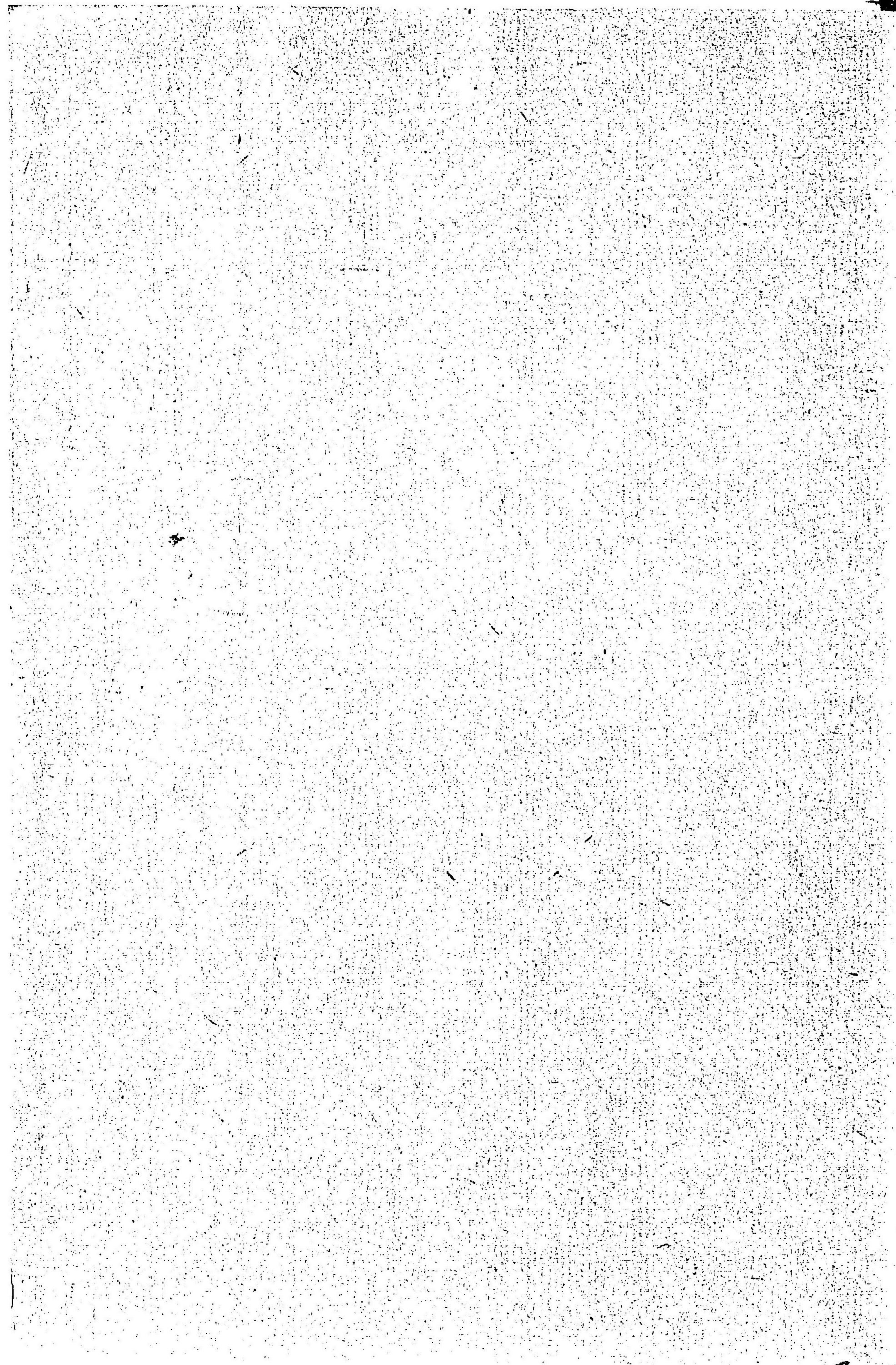
林 信 次

甲府市堅町九番戶

同盟員

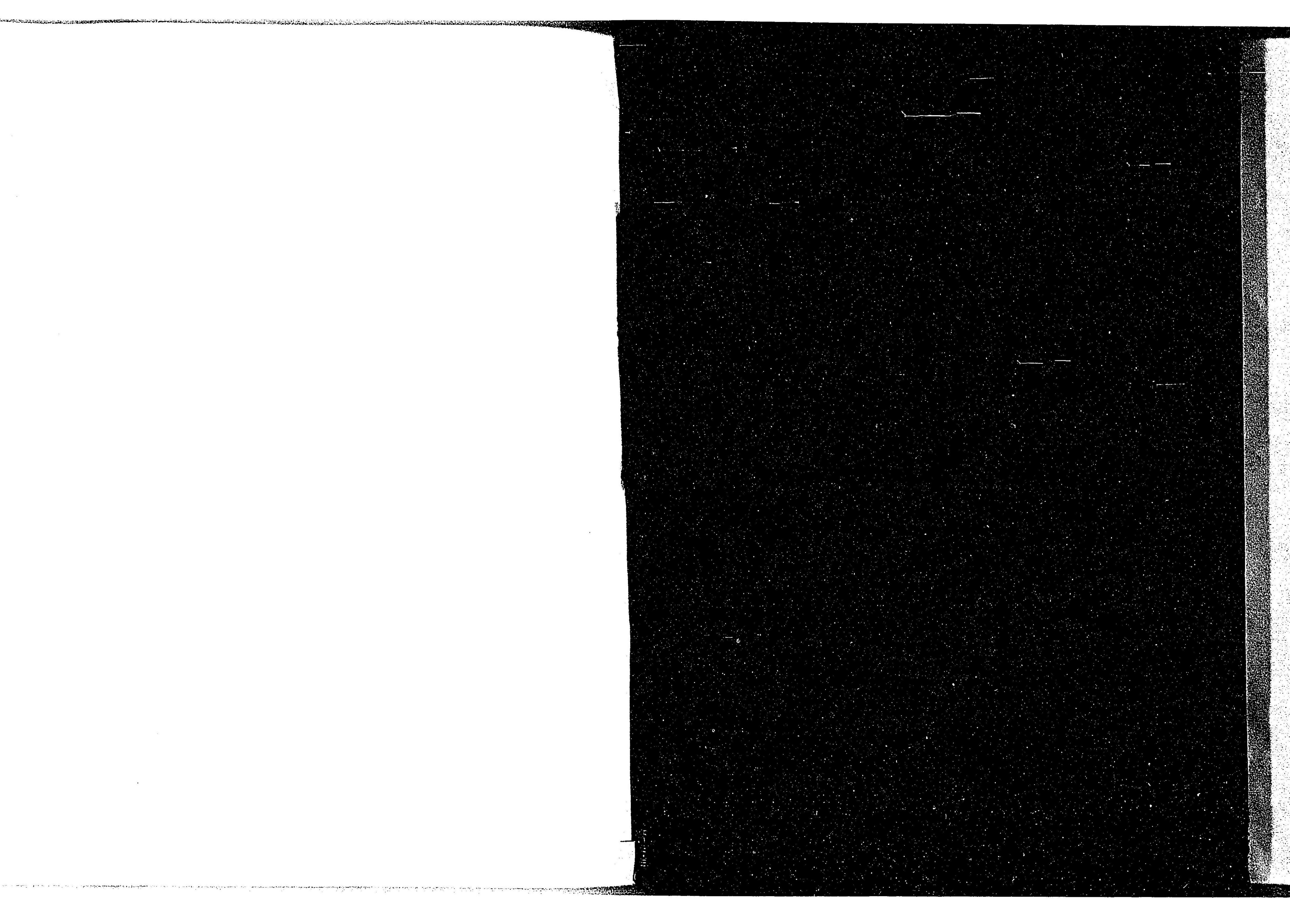
印刷者

印刷



35

34  
281



005150-000-7

34-281

山梨自治制史

林 信次/等編

M39

ACE-1986





